

働きやすい職場づくりを学ぶ

府国保診療施設協議会看護師部会総会・研修会



国保診療施設協議会看護師部会総会・研修会は、3月5日（土）、府国保連合会において府国保診療施設より83名の看護師が集まり開催された。

開会にあたり、公立南丹病院の大嶋部会長は、今回の研修内容を各施設に持ち帰り、役立ててもらいたいと挨拶した。

総会では、国保京丹波町病院の石田看護師長より平成22年度看護師部会及び協議会全体事業報告がなされた。

研究発表では、公立山城病院の田中看護師は「意識下手術中の芳香浴導入を試みて～芳香浴実施後のアンケート結果から得られたこと～」、村田看護師は「災害時における透析緊急離脱方法の検討～安全で迅速な離脱実施に向けて～」と題して発表した。京丹後市立弥栄病院の故金准看護師は「血液透析患者へ10品目シートを使用した結果の報告」、徳本准看護師は「手術患者と待ち時間と環境～現状調査報告～」、また、公立南丹病院の上郡看護師は「皮膚の乾燥・落屑の改善を目指して～ハチミツの保湿効果を利用した足浴を試みて～」、京丹後市立久美浜病院の松田准看護師は「二分脊椎症児をもつ母親への心理的アプローチ～入学前後の排泄セルフケア訓練をとおして～」と題した発表を行った。



医療法人ゆめはんな会ヨリタ歯科クリニックの寄田幸司院長は「職員のやる気を引き出す組織づくりとは」と題して講演を行い、夢をもって、楽しく働きやすい職場のもたらす効果等を説明した。